

# よきかな若人

～飯綱山こそわれらが希望～

## 2学期学校自己評価アンケートのまとめ

令和3年度2学期「学校自己評価アンケート」結果(生徒)

(1 よくあてはまる 2 あてはまる 3 あまりあてはまらない 4 あてはまらない)  
 ※質問21～23 1 はい 2 いいえ 上段・人数

番号	設問	全校			
		1	2	3	4
1	安心して学校に行くことができている。	152 71%	56 26%	6 3%	0 0%
2	学級や学年の仲間の気持ちを考え、居心地のよい集団にしようと心がけている。	146 68%	65 30%	3 1%	0 0%
3	授業の前に授業の準備とウォーミングアップをしている。	117 55%	91 43%	6 3%	0 0%
4	楽しく授業に参加し、学習内容はおおよそ理解している。	94 44%	109 51%	9 4%	2 1%
5	授業では、友と関わったり、話し合ったりすることを通して、自分の考えを深めたり、広げたりできている。	114 53%	93 43%	6 3%	1 0.5%
6	授業では、人に分かるように自分の言葉で話そうとしている。	88 41%	103 48%	22 10%	1 0.5%
7	授業の終わりでは、1時間の授業を振り返り、次の授業へ生かそうとしている。	55 26%	114 53%	43 20%	2 1%
8	「教育相談の時間」は、家庭学習の計画を立てたり、理解が十分でないところを補ったりするのに役立っている。	89 42%	104 49%	19 9%	1 0.5%
9	家庭学習は、授業での取り組みや自分の理解度を振り返り、自主的に取り組んでいる。	100 47%	98 46%	15 7%	1 0.5%
10	総合的な学習の時間の防災学習(1年)、職場体験学習(2年)、私の飯綱町(3年)は、地域や自分の生き方について見つめる機会になった。	149 70%	59 28%	3 1%	3 1%
11	人権学習では、自分や他者の人権を守るための行動について考え、人権意識を高めることができた。	169 79%	45 21%	0 0%	0 0%
12	道徳の授業では、課題を自分自身の問題と捉え、様々な角度から考えて、よりよい生き方を求めようとしている。	141 66%	70 33%	2 1%	1 0.5%
13	地域や校内で気持ちのよい挨拶ができている。	138 64%	67 31%	8 4%	1 0.5%
14	服装、持ち物、行動など、学校生活全般において、きまりを守って生活している。	167 78%	44 21%	1 0%	1 0.5%
15	生徒会活動では、自分のやるべき仕事に責任をもち、協力して取り組んでいる。	159 74%	52 24%	3 1%	0 0%
16	I(あい)タイムでは、自分の考えを発信したり、他者の発言を聞いて自分の考えを深めようとしている。	99 46%	99 46%	14 7%	2 1%
17	清掃には無言で集中して取り組んでいる。	133 62%	73 34%	7 3%	1 0.5%
18	先生方は、あいさつや会釈をし、気持ちのよい声かけを心がけている。	141 66%	66 31%	5 2%	2 1%
19	先生方は、生徒が居心地よく過ごせるように取り組んでいる。	147 69%	62 29%	3 1%	1 0.5%
20	学校は、生徒が安心して過ごせるように、感染症等について、十分な対策を講じている。	153 71%	56 26%	4 2%	1 0.5%
21	今年度になって、いじめや差別を受けた。	2 1%	212 99%		
22	今年度になって、いじめや差別をしたことがある。	0 0%	214 100%		
23	今年度になって、体罰やハラスメントを受けた。	0 0%	214 100%		

2学期学校自己評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。今回のアンケートの結果を、来年度以降の教育活動に生かしていきたいと思えます。以下、本アンケートの結果と考察を紹介いたします。

「安心して学校生活にかかわって 生徒アンケート1、保護者アンケート1 (安心して登校)では、「よくあてはまる」、「あまりあてはまらない」という回答が、合わせて9割以上ありました。しかし、「あまりあてはまらない」、「あてはまらない」という回答もわずかながらあります。生徒一人ひとりについて、担任、副担任だけでなく、日頃から多くの職員で見守り、声かけを重ねて参ります。今年度はSS W(スクールソーシャルワーカー)による全員面談を3年生と2年生で実施し、生徒が抱えている不安や悩みを聞く機会としました。今年度、生徒も被害者、加害者になり得る深刻な問題

「あてはまる」という回答が、合わせて9割以上ありました。しかし、「あまりあてはまらない」、「あてはまらない」という回答もわずかながらあります。生徒一人ひとりについて、担任、副担任だけでなく、日頃から多くの職員で見守り、声かけを重ねて参ります。今年度はSS W(スクールソーシャルワーカー)による全員面談を3年生と2年生で実施し、生徒が抱えている不安や悩みを聞く機会としました。今年度、生徒も被害者、加害者になり得る深刻な問題

「あてはまる」という回答が、合わせて9割以上ありました。しかし、「あまりあてはまらない」、「あてはまらない」という回答もわずかながらあります。生徒一人ひとりについて、担任、副担任だけでなく、日頃から多くの職員で見守り、声かけを重ねて参ります。今年度はSS W(スクールソーシャルワーカー)による全員面談を3年生と2年生で実施し、生徒が抱えている不安や悩みを聞く機会としました。今年度、生徒も被害者、加害者になり得る深刻な問題

## 令和3年度2学期「学校自己評価アンケート」結果(保護者)

(1 よくあてはまる 2 あてはまる 3 あまりあてはまらない 4 あてはまらない)

※質問13~15 1 はい 2 いいえ

上段・人数

番号	設問	全校			
		1	2	3	4
1	お子さんは、安心して登校している。	92 55%	67 40%	8 5%	1 1%
2	お子さんは、学校で学習したことはおおよそ分かっている。	94 56%	41 24%	30 18%	3 2%
3	家庭学習の内容は、質、量ともに適当である。	104 62%	36 21%	23 14%	5 3%
4	生徒は、地域や校内で気持ちのよい挨拶ができています。	93 55%	54 32%	20 12%	1 1%
5	生徒は、服装、持ち物、行動など、学校全般において、きまりを守って生活している。	97 58%	68 40%	3 2%	0 0%
6	学校は、生徒が豊かな人間関係を築けるよう、教育活動を工夫している。	106 63%	57 34%	4 2%	1 1%
7	学校は、SNS等の利用について、十分な啓発活動を行っている。	106 63%	43 26%	18 11%	1 1%
8	学校は、地域に関心を持ち、地域との関わりを大切にしながら教育活動を行っている。	106 63%	55 33%	7 4%	0 0%
9	学校は、生徒一人一人に寄り添い、生徒の成長のために十分な支援を行っている。	107 64%	47 28%	14 8%	0 0%
10	学校の職員は、挨拶や会釈をし、気持ちのよい声がけを心がけている。	88 52%	75 45%	4 2%	1 1%
11	学校、学年、学級からの便りを通して、学校の様子が分かりやすく伝わってくる。	100 60%	61 36%	7 4%	0 0%
12	学校は、生徒が安心して過ごせるように、新型コロナウイルス感染症について、十分な対策を講じている。	90 54%	74 44%	4 2%	0 0%
13	今年度になって、お子さんはいじめや差別を受けている。	4 2%	164 98%	0 0%	0 0%
14	今年度になって、お子さんはいじめや差別をしている。	0 0%	168 100%	0 0%	0 0%
15	今年度になって、お子さんは体罰やハラスメントを受けた。	6 4%	162 96%	0 0%	0 0%

と捉え、授業や休み時間の生徒たちの言動に注意を払うとともに、人権教育、道徳教育等、学校の教育活動全体を通して、いじめ防止に努めて参ります。

保護者アンケート15では、体罰・ハラスメントについて、「ある」との回答が数件ありました。2学期中に再度保護者アンケートを行い、部活動等での指導の場面で、生徒と教師の信頼関係を損なうような感情的な態度での指導があつた等の声が寄せられました。学校ではお寄せいただいた声を謙虚に受け止め、学校長の指導により、感情的に威圧するような言動や生徒の人格を否定するような指導は厳禁であること、生徒が毎日安心して学校生活を送れるよう、温かい声がけをしていくことを教職員全体で再認識いたしました。今後も体罰・ハラスメントに関し、何かご心配なことがあれば、遠慮なく学校へ声をお寄せください。

### 学習にかかわって

今年度から、月曜日を定期的に「教育相談の日」として午後30分間、家庭学習の計画を立てたり、学習の補充をする時間としてきました。生徒アンケート8では教育相談の時間に肯定的な回答が9割を超えています。来年度も活動内容を改善しながら継続して実施して参ります。生徒アンケート5(授業での友との関わり)でも多くの肯定的な回答がありました。今年度はどの授業でもグループ学習や話し合い活動が行われ、友と積極的に関わろうとする生徒の姿が多く見られました。しかし、生徒アンケート6(自分の言葉で話す)が示すように、考えたことを人前で発表することが苦手な生徒が多い傾向があります。生徒が自ら話したくなるような発問や発表させる場面の工夫、また、間違いや失敗を認め合い、安心して発言できる学級づくりを来年度の課題としていく必要があります。

地域との関わり(生徒アンケート10、保護者アンケート8)については生徒、保護者ともにとても高く評価されています。「ふるさとを愛する心」の育成は従前より本校の重点活動のひとつとしています。今後も地域に学び、視野を広げ、地域に発信する活動を大切にして参ります。

生徒の皆さん、保護者の皆様から寄せられたお声により、職員全体で本校の課題を受け止め、共有させていただきました。生徒の皆さん、保護者の皆様に、よくなったことが実感していただけるよう対応して参ります。今後引き続き飯綱中学校の教育活動にご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願いたします。

## 校内の掲示板から

本校卒業生で北京オリンピックリージュ1人乗り日本代表選手の小林聖矢さんを応援しようと、全校生徒でリージュ用のそのの模型に応援メッセージを書きました。小林さんは24日(木)に本校を訪問してくださいませ。



